

沈黙の月

「寺越事件」忘れられた母子



2023年日本民間放送連盟賞表彰式 テレビ報道番組部門 優秀賞を受賞

2023年11月7日(火)に開催された第71回民間放送全国大会の式典で、「HAB報道特別番組 沈黙の月『寺越事件』忘れられた母子」が2023年日本民間放送連盟賞のテレビ報道番組部門優秀賞の表彰を受けました。

受賞番組 「HAB報道特別番組 沈黙の月『寺越事件』忘れられた母子」

放送日時

2023年5月29日(月)深夜1時58分～2時58分

スタッフ

ディレクター 中島佳昭／編集 牧田邦和／
カメラ 前田国憲／プロデューサー 黒崎正己

番組内容

1963年5月、石川県志賀町の沖合で寺越昭二さん、外雄さん、当時中学2年生の武志さんが漁に出たまま行方不明となった「寺越事件」。武志さんの母・友枝さんの取材を16年間続けたHAB中島佳昭記者の目線で、世間から忘れ去られようとしている「寺越事件」を記録し、伝えた。

審査講評

「寺越事件」は発生から60年が経過。24年後に北朝鮮で生存が判明した息子の武志さんは拉致を否定し、母の友枝さんは拉致という言葉を読み込んで訪朝を重ねてきた。政治に翻弄されてきた母と息子。世間から忘れ去られようとしている事件を記録し、平壤で撮影された映像や貴重な証言から、拉致被害者とは異なる道を辿った事件の本質や真実に迫る。16年にわたる取材でこそ描けた老いていく母の姿が痛ましい。取材記録の厚みに圧倒され、伝え続ける責任感を感じる。政治の安直さも浮かび上がらせており秀逸である。

ディレクター 中島佳昭記者のコメント

数ある作品の中から、日本民間放送連盟賞のテレビ報道番組部門で優秀に選ばれたことは光栄であり、全国から集まった制作者と共に表彰されたことは、忘れられない瞬間となりました。取材にご協力いただいた寺越友枝さん、並びにご家族の皆さまに改めて感謝申し上げます。私は約16年間、寺越事件を取材してきましたが、先輩記者の思いを受け継ぎ、取材を継続する大切さや、ローカル局として記録することの意義を感じました。寺越事件は解決されることなく、60年の月日が流れました。この番組をきっかけに、日本と北朝鮮に引き裂かれた母と息子の半生を1人でも多くの人に知ってほしいと願っています。

